

## 第5号議案

### 令和6年度 福井市公民館連絡協議会 活動方針（案）

#### 基本方針

本会は公民館が掲げる「つどう・まなぶ・むすぶ」の理念のもと、公民館相互の連携と職員の資質向上を図ること、また会員の親睦を深めることを通して、福井市の社会教育の進展に寄与していきたい。基本方針として 1 福井市生涯学習課の事業方針に基づき、市民の生涯学習を支援し、「みんなが輝く全国に誇れるふくい（第8次福井市総合計画）」のひとづくり・まちづくりを進めていくこと。2 そのために地域のコーディネーターとしての役割を果たし、地域の様々な事業活動に協力していくこと。3 新幹線開業に伴う交流人口の拡大に寄与できるよう各地区の紹介に努めること。を掲げたい。各館はもとより、市公連の育んできた社会的リソースを結集して、さらなる生涯学習の環境づくりをめざしたい。

#### 具体的方針

##### 1 公民館における生涯学習の実施と地域活動への支援強化

- (1) 不死鳥のねがい（福井市市民憲章）の趣旨に基づく学習や実践活動を行う。
- (2) 各地区の特色を生かし、地域の人が進んで参加できる教育事業を行う。
- (3) 地域の歴史や伝統文化を継承・発信する。
- (4) 地域コミュニティの活動を支え、防災や高齢者支援など、持続可能な地域づくりに貢献する。
- (5) 家庭・地域・学校などの団体や機関との連携を進める。

##### 2 公民館職員の資質向上と連絡・協調の推進

- (1) 生涯学習支援に生きる専門性を互いに学びあうため、研修会や大会に積極的に参加する。
- (2) 各館やブロック内での研修を充実させ、資質の向上に努める。
- (3) 各館が取り組む事業を学び合うため、情報の交換・共有化を進める。
- (4) 地域住民が気軽に足を運んでもらえる公民館づくりに努める。

##### 3 市公連としての取り組み

- (1) SDGsの17項目から具体的実践を選び（複数可）、年間を通して各公民館で取り組む。
- (2) 公民館事業の更なる充実のため、行政との協議を図り、施設・設備の充実や財源の確保を要望する。
- (3) 職員の勤務条件や福利厚生について、改善されるよう要望する。
- (4) 職員相互の信頼を深め、組織の強化に努める。